

## ツマベニチョウだより (第11号)

◎ ツマベニチョウの観察会に行ってきました。

9月12日に指宿市でツマベニチョウの観察会があると聞きましたので私も参加しました。当日の朝指定の場所に集まった人は約30人で今回が4回目とのことでした。マイクロバスで山川小学校(山川町)に着くと、校庭の中程に約33平方メートルのビニールハウスの飼育舎があり、中のハイビスカスやランタナの間を約30頭のツマベニチョウが飛んでいました。次に訪れた同町の徳光小学校の飼育舎は更に大きく、チョウも50頭くらいもいて交尾や産卵をするものも見られ、幼虫も沢山いました。ご案内の今村俊一氏の熱心さと、ツマベニチョウに対する行政や学校関係者の20年以上にわたるご努力に頭の下がる思いでした。

◎ 宮浦にツマベニチョウが飛んで来ました。

宮浦の「木の会」のメンバーの一人である谷川伸夫様より「いま、自宅のハイビスカスの花にツマベニチョウが1頭来ている」と、9月23日の昼過ぎにお電話がありました。これに気をよくした私はギョボクとランタナの苗を更に植え増しして貰うことにし、ギョボク30本、ランタナ100本、ヒメノウゼンカズラ8本を、10月20日に谷川様に取りに来て貰って、木の会の方々にそれぞれ植えて戴きました。

◎ サンメッセ日南にもツマベニチョウが来ていました。

10月13日にサンメッセ日南に行った際に、ツマベニチョウのメス1頭を目撃しました。場所はモアイ像の前のハイビスカスの花でしたので、すぐ産卵に役立つようにと1.5メートル程に成長したギョボク7本を、モアイ像の近くの林縁に植えさせて貰いました(10月22日)。その折にランタナの苗30本も持参して、付近に植えて下さるようお願いしました。

それから数日後に宮浦地区の主婦の方から、モアイ岬でツマベニチョウを見たのご連絡があり、また10月23日にも別の場所で1頭を見たお知らせ下さいました。

◎ 猪崎鼻にギョボクとランタナを植えて戴きました。

「ツマベニチョウだより第8号」でお知らせしました「猪崎鼻にギョボクとランタナを植える件」が実現しました。ギョボクは大小取り混ぜて50本、ランタナは挿し木苗50本を、10月27日に造園業者が拙宅に受け取りに来られて、28日に猪崎鼻に植樹して下さいました。これには宮崎県の(生活環境課と日南土木事務所)、公園協会ならびに日南市(商工観光課)3機関の関係者の方々の、なみなみならぬご高配、ご支援がありましたことを付記して衷心より感謝申し上げます。

◎ ギョボクとランタナの挿し木について

最近3年間の経験からギョボクとランタナの挿し木の要領が分かって来ました。ギョボクは穂先よりも根元に近い部分の直径1センチから2センチ程のものがよく、根茎なら100パーセント発芽します。成長も根茎からのものの方が早く1年で定植出来ます。そのほか直径2~3センチ位の枝なら、半日陰の木下に直接挿し木してもよく活着します。

ランタナは盛夏の8月を除けば4月から10月いっぱいまで何時でも挿し木出来ます。長い枝でしたら15センチ位に切って挿し木しますが、こちらはギョボクと違い穂先の方が後々の成長が早いようです。

なお、ヒメノウゼンカズラもランタナと同じ要領で挿し木することが出来ます。(この花にもツマベニチョウがよく吸蜜に訪れます)

平成11年10月29日

海老原秀夫